

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	宇佐美 毅		
NAME	USAMI Takeshi		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記のとおりご報告いたします。

1. 研究課題

日本戦後史とテレビドラマの関係に関する研究

2. 研究期間

2021・2022年度

3. 費目別収支決算表

掲載省略

4. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

（和文）

本研究の目的は、日本の戦後史とその時期に放送されたテレビドラマとの関係を明らかにすることにある。そのために、まずは研究の基盤となるテレビドラマ作品のDVDを購入し、資料を揃えるよう努めた。また、近年はテレビドラマ撮影のロケ地が注目されていて、「聖地巡礼」とも呼ばれるような、ロケ地散策をする視聴者が増えている。そのため、テレビドラマ作品の内容と特に強い関係性を持つ地域を選んで、そのロケ地選定の意図と効果を考察してきた。さらに、近年は視聴者を呼び込むような自治体の努力もなされていて、そのための調査として、各地のフィルムコミッション団体へのインタビューをおこなった。また、これらの研究の補助者として、大学院生にアルバイト作業を依頼し、調査で得た資料や原稿の整理をお願いした。

本研究のひとつの成果として、中央大学文学部実践的教養演習編のアンソロジー『学びの扉をひらく』（上巻、中央大学出版部、2022年3月15日）に、「フィクション作品から考える「時間／記憶／記録」ーテレビドラマ『時は立ちどまらない』をめぐってー」を発表した。これは2011年の東日本大震災をフィクション作品がどのように描いたかを考察する研究であり、特に山田太一脚本のテレビドラマ作品における「なぜドキュメンタリーではなくフィクションなのか」という問いを考察したものである。さらに本研究のテーマに基づき、地域と映像作品の関係を考察した論文を成果として、今後発表するように準備している。

（英文）

In order to proceed with my research, I first purchased DVDs of TV dramas that would serve as the basis for my research, and tried to gather materials. Also, in recent years, the filming locations for TV dramas have been attracting attention. As a research for that purpose, I interviewed film commission organizations in various places. In addition, I asked graduate students to work part-time as assistants for these studies, and to organize the materials and manuscripts obtained from the survey.

As one of the results of this research, "Time, Memory, and Records Thinking from Fictional Works" was published in the anthology "Opening the Door to Learning" in the Chuo University Faculty of Letters Practical Education Seminar.